

May 26, 2012 ハヤシミドリシジミが羽化

昨日午前中に蛹の翅部に紫色を帯びた羽化兆候を認めたハヤシミドリシジミが、本日朝7時頃に羽化。残念ながら羽化の瞬間を確認できず、気づいたときにはもうすっかり翅を伸ばしていた。美しい翅表のグリーンを記録したくて自分の指やエノキの葉上へと移しても動き回り、時にはヒラヒラと飛ぶこともできる。結局、翅基部のウルトラマリンブルーだけを記録する。



July 14, 2014 ウスイロヒョウモンモドキ観察会から転戦

観察会を終えて、カシワの樹が林立する高原へと転戦してハヤシミドリシジミを観察。実際に本種の生きた姿を野外でみるのは初めてで、その撮影も初めてだが、開翅姿勢をみせてはくれず。メス個体はヒロオビミドリシジミではないかと思うほどに後翅の白帯の幅が広い。



June 29, 2015 ハヤシミドリシジミ

ハヤシミドリシジミ *Favonius ultramarinus* の撮影に再チャレンジしてきた。2013年7月に初めて産地へと案内してもらった時に、カシワの葉上にとまる♂個体を撮影記録できたのが最初だが、翅表の美しい色はキャッチできていなく、昨年6月23日に行ってみたときには時期が早すぎて完全に空振り。ところが、今年の6月20日に友人がみごとなスカイブルーの開翅記録をブログにアップされた (http://blogs.yahoo.co.jp/take_takasi) ことで、俄然リベンジしたくなる。日曜日が梅雨の合間の好天気だったが、健康管理のためにだけでなく人数が少ないテニスを休むわけにはいかず、幸



い良好な天候に恵まれた月曜日に遠出。陽射しが強すぎるなか、なんとか複数の♂個体を見つけるが、なかなか開翅姿勢をとってくれない。それでも、わずかにのぞくウルトラマリンブルーを撮り込み、さらに木陰となっているカシワ林の奥へと踏み込んで、やっと低い位置のシダの葉上でわずかに開翅してくれる個体に出会う。友人のみごとな記録には遠く及ばないが、遠くまで同行してくれた妻に感謝。



June 29, 2015 兵庫県養父市